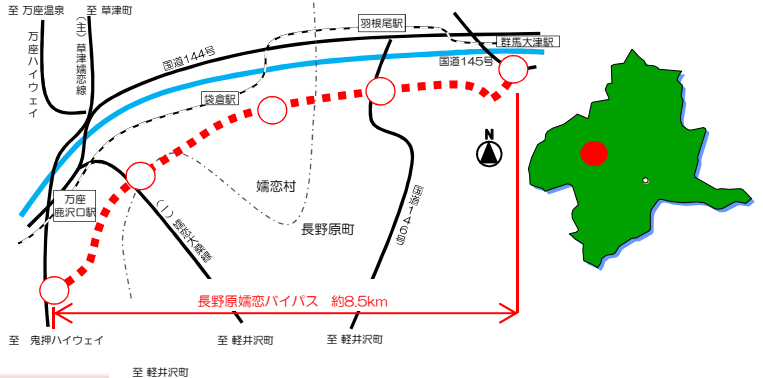


事業概要

- 所在地：長野原町与喜屋～嬭恋村鎌原
- 路線名：国道144号
- 事業内容：延長 約8.5km 幅員10.5m
- 全体事業費：約220億円
- 事業期間：令和元年度～令和11年度
- 現在の交通量（H27）：8,931台/日（現道\_国道144号）
- 計画交通量（R12）：6,800～11,000台/日（バイパス）  
：6,500台/日（現道\_国道144号）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の発展と住民の利便性向上を図るため

バイパス道路  
をつくります



- ・地域の発展のため、移動を便利にしてほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く、すれ違いに支障があるので、円滑に通行できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・温泉地やスキー場などの観光地に、人を呼び込み観光客を増やしたい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
渋川伊香保ICから万座温泉へのアクセス時間短縮	約2時間	約1時間30分（約30分短縮）
嬭恋村から西吾妻福祉病院への搬送時間短縮	西吾妻福祉病院 32分	西吾妻福祉病院 27分（5分短縮）
緊急医療病院への搬送時間短縮	前橋赤十字病院 165分	前橋赤十字病院 100分（65分短縮）
嬭恋村からの即日販売圏人口	2,287万人	3,486万人

実施前

- ◆線形不良箇所が38箇所あり、見通しが悪く交通事故のおそれがあるとともに、雨量規制や土砂崩れにより通行止めが過去に5回発生しています。（H19～R1）



国道144号幅員狭小状況



H28年 倒木による通行規制

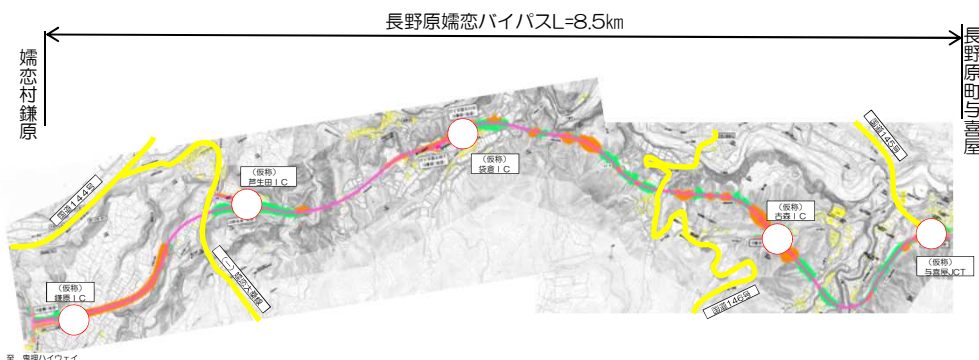
実施後

- ◆幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆バイパスを整備することで、災害時や事故等が発生した際の孤立化リスクが解消され、利便性も向上します。



完成後イメージ

事業の進捗状況（R3年3月現在）



今、何をしているか

令和2年度は前年度に決定したルートにおいて、地形測量、地質調査を実施しました。また、路線測量、道路詳細設計及び橋梁予備設計を進めており、令和3年度に道路詳細構造を地元説明する予定です。

事業のすすみ具合

